

宮崎市郡医師会病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。いつでも本研究への参加を拒否することが可能です。

研究課題名 (研究番号)	大腸悪性狭窄に対する経肛門的イレウスチューブと自己拡張型金属ステントの有用性についての比較検討 (2018-11)
当院の研究責任者 (所属)	麻田 貴志 (外科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	参加する他の研究機関および施設はありません。
本研究の目的	この研究の目的は、大腸癌等による悪性狭窄に対し、状況に応じた適切な治療法について知見を得ることです。
調査データ 該当期間	平成 17 年 3 月から平成 29 年 2 月までに本院外科に入院され、大腸癌等による悪性狭窄に対する治療を受けられた方が対象となります。
研究の方法 (使用する試料等)	平成 17 年 3 月から平成 29 年 2 月までの期間に当院で大腸悪性狭窄に対して行われた代替減圧術として、経肛門的イレウスチューブ留置例と自己拡張型金属ステント留置例での短期的有用性について比較検討します。 上記の研究に使用する目的で、平成 17 年 3 月から平成 29 年 2 月までに当院外科で加療を受けられた大腸癌等による悪性狭窄例の患者さんのうち、すでに診療の過程で収集した情報を本研究に使用させていただきます。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。
個人情報の取り扱い	研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として使用いたします。
本研究の資金源 (利益相反)	この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の研究費で賄われます なお、本研究の実施責任者と分担研究者は本研究に関わる企業及び団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反はありません。
お問い合わせ先	宮崎市郡医師会病院外科 医長 麻田 貴志 電話：0985-24-9119 (病院代表) FAX：0985-23-2210
備考	ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、上記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保（あるいは、特許に関わる事象）に支障のない範囲内で情報開示を行います。